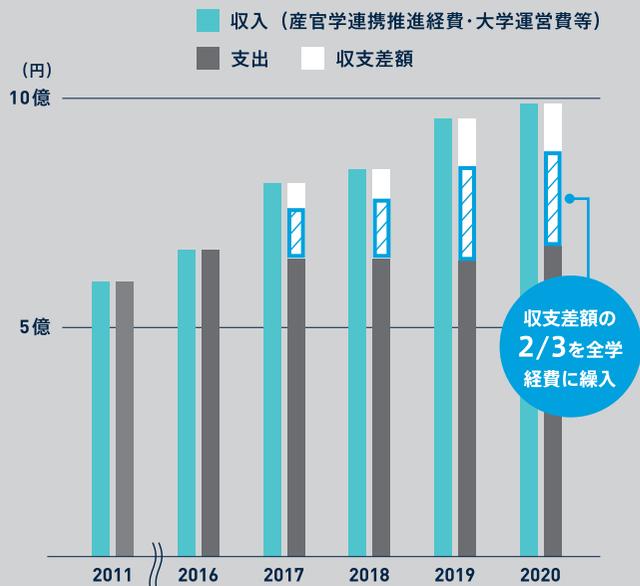


## 運営収支の推移



2020年度は

**2.2** 億円 の利益を全学経費として繰入

それは...

- 共同研究費の増加で収入増加
- 業務効率化による支出抑制
- 産官学連携本部で実施等している公的プログラム・外部資金等の獲得による代替

によって実現

## CONTACT

起業、事業化のご相談は、いつでも、何でも、ご遠慮なく!

ベンチャー支援(出資事業)の相談窓口  
産官学連携本部 出資事業支援部門  
Mail: [venture-incubation@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:venture-incubation@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)  
Tel: 075-753-5535

社会実装のための体制作りや  
パートナーシップなどのご相談にも応えます!

共同研究・受託研究・学術指導の相談窓口  
産官学連携本部 産業・国際連携開発部門  
Mail: [liaison@saci.kyoto-u.ac.jp](mailto:liaison@saci.kyoto-u.ac.jp) Tel: 075-753-9158  
・産学協働に向けた研究の推進支援・公募事業に関する  
ご相談は学術研究支援室(KURA)へ  
Mail: [contact@kura.kyoto-u.ac.jp](mailto:contact@kura.kyoto-u.ac.jp) Tel: 075-753-5108  
・事務手続きについては各部局の外部資金担当へ

- 医学領域の方は、まずは「医学領域」産学連携推進機構(KUMBL)へご相談ください。  
<http://www.kumbl.med.kyoto-u.ac.jp/contact>



論文投稿前に発明検討しませんか?

知的財産・技術移転等の相談窓口  
産官学連携本部 知的財産部門  
Mail: [ip-regist@saci.kyoto-u.ac.jp](mailto:ip-regist@saci.kyoto-u.ac.jp)  
Tel: 075-753-9181  
発明届出はこちら  
<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/ip/patent/>



産学連携情報プラットフォーム Philo-(フィロ)

2021年3月に京都大学の産学連携に関する新たなサイト「産学連携情報プラットフォーム Philo-(フィロ)」を開設しました。  
<https://philo.saci.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学 産官学連携本部

研究推進部産官学連携課産官学連携企画掛  
Mail: [sanren-kikaku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:sanren-kikaku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)  
Tel: 075-753-5536 / 5534

Kyoto University

# SACI's

## ポケット産連本部

活動レポート 2021  
2020.4-2021.3

# '21



2021 / September

# 2020 HIGHLIGHT

産官学連携本部の活動概況

## 京大発ベンチャー創出数

2011-2015 年度 ——— 2016-2020 年度

+25 社 +66 社

参考 | 2020年10月  
時点累計 : 222社

## 民間企業等からの共同研究費

2010 年度 ——— 2019 年度 ——— 2020 年度

38 億円 / 年 63 億円 / 年 67 億円 / 年

産官学連携本部の役割である

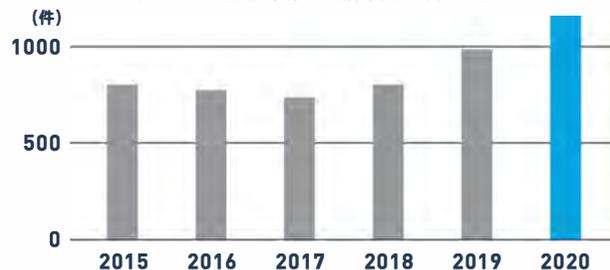
ベンチャー創出支援

共同研究費の獲得

どちらにおいても成長傾向

## サポート体制の強化

共同研究契約等の法務相談件数遷移



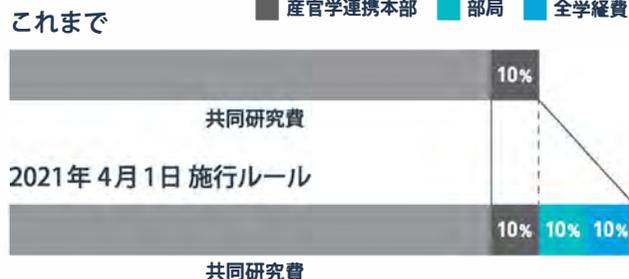
2020年度は 42/60 部局から  
相談を受けました

医学、工学、農学分野だけではなく、教育学、経済・経営分野等、  
多数の分野からご依頼いただいています。

法務顧問 京都アカデミア法律事務所

## 共同研究費の配分ルールの変更

部局・全学への還元のための配分率を見直し



産官学連携本部

10%

一部は全学  
経費へ繰入

部局

10%

全学経費

10%

全学的な研究環境の  
整備に充当

# FUTURE GOALS

2027年度までの中期目標

## 京大発ベンチャー創出数

2022-2027 年度

+40 社

## 民間企業等からの共同研究費

2027 年度

80  
億円 / 年

そして...

部局・全学等の  
活動費増加に貢献

# ECO-SYSTEM

「知」を社会へ

## 京大エコシステムと大学への還元

京都大学において創出された「知」を社会につなげ「価値」の最大化、「収益」の還元を行い教育研究活動に貢献します。



## 2020 ACTIVITY

各子会社の  
最新の活動事例



総額 181 億円の 2号ファンドを 2021年 1月に設立しました。



1号ファンド特徴：京都大学関連ベンチャーだけに投資する

総額 160 億円

2号ファンド特徴：京都大学以外の国立大学関連ベンチャーへも投資する

総額 181 億円



2020年度活動実績

コンサルティング 及び関連サービス	59 件	研修・講習及び 関連サービス	37 講座
マッチングイベント 開催	6 件	開催日数のべ	175 日
		参加者数のべ	1万 人超

理系・文系にかかわらず、京大のあらゆる分野の先生方と協働し、企業向けコンサルティングサービスを展開しています。また、「京大オープンアカデミー」を開校し、京大の研究成果を講座やセミナー等の形式で、幅広い受講者層にお届けしています。講座企画から営業・広報、募集等の事前準備、当日の進行、アンケート等事後フォローまで一気通貫した研究成果発信のサポートが可能です。

Liberal Arts	Professional	Executive
<b>教養コース</b> 専門分野の知識、大学の教養知識をより分かりやすく、手軽にアクセスしていただくためのプログラム 期間 短期	<b>専門コース (基礎/応用)</b> 京都大学の最先端の研究成果を応用した、分野に特化した専門的な知識をより深めるためのプログラム 期間 短期～長期	<b>エグゼクティブコース</b> 多岐に渡る分野を総合的に学ぶ、京都大学の強みを集めたエグゼクティブ、次世代リーダー向けのプログラム 期間 長期
こんな方におすすめ 分野の幅広い知識を得たい方、社会人に求められる教養知識に興味・関心をお持ちの方	こんな方におすすめ 自身のスキル・知識に磨きをかけたい方、最先端の知識に触れたい方	こんな方におすすめ 次世代を担うビジネスパーソン、人として強い軸を持つリーダーを目指す方

より幅広い学内の方のニーズにお応えするために、コミュニケーションデザインサービスも開始。セミナー・シンポジウム・研究会などのイベント運営やウェブサイト・映像・クリエイティブ作成、マスメディア広告支援など、アウトリーチに関する様々な支援が可能です。

**KYOTO OPEN ACADEMY** 京大オープンアカデミー  
<https://www.kyodai-original.co.jp/open-academy/>  
 問い合わせ先  
 Mail: kuo@kyodai-original.co.jp



国内企業 4,000社以上、海外企業 200社以上とネットワークを形成し、技術移転契約数累計は750件以上、製品化等の実用化実績は100件以上、業務提携大学は14大学となりました(2021年7月現在)。



京都大学をはじめとする連携大学で生まれる知的財産の活用促進・マネジメントをサポートし、それらを産業界へ橋渡しすることで、有益な大学発技術を世の中に広めていく、サステナブルな活動を目指しています。

### 新技術説明会について

※科学技術振興機構、京都大学、TLO 京都、iPSアカデミアジャパンが主催

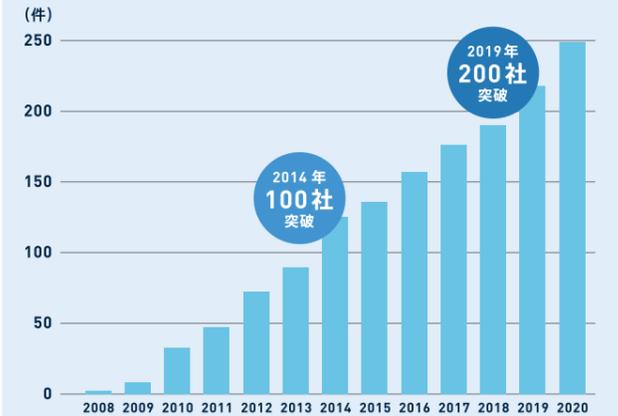
2021年6月29日(火)に研究成果(特許)の実用化(技術移転)を目的とした京都大学新技術説明会を開催しました。今年度はコロナ禍のためオンラインでの開催となりましたが、京都大学の7名の先生にご登壇いただき、当日は305名の方にご参加いただきました。

詳細はこちら  
[https://shingi.jst.go.jp/kobetsu/kyoto-u/2021\\_kyoto-u.html](https://shingi.jst.go.jp/kobetsu/kyoto-u/2021_kyoto-u.html)

EVENT



特許ライセンス許諾機関数：2020年度末 約250件



iPS細胞関連技術を普及・発展させることを目的とする若手研究者を対象とした『iPSアカデミアジャパン研究助成』につき、5名を2020年度の採択者として決定しました。【研究助成金：各200万円(助成総額1,000万円)】